

2008年3月25日
東レ株式会社

PPS 樹脂 “トレリナ” の増産決定について 2009年4月から2,500トン増能力

東レ(株) (本社：東京都中央区、社長：榊原 定征、以下「東レ」) はこのたび、PPS (ポリフェニレンサルファイド) 樹脂 “トレリナ” の生産能力増強を決定しました。当社東海工場 (愛知県東海市) の生産設備を改造し、年 2,500 トンの増能力を実施します。2009年4月からの増産開始予定で、生産能力を年 14,000 トンまで拡大します。なお当社は、PPS 樹脂の旺盛な需要拡大に対応するため、引き続き 2010 年までの稼働開始を目指して次期増設の計画検討に着手します。

PPS 樹脂は、耐熱性や耐薬品性、機械的強度、難燃性等に優れた “スーパーエンブラ” で、電気・電子機器や OA 機器、自動車の電装部品等に使用され、採用領域が拡大しています。PPS 樹脂コンパウンドの世界需要は約 75,000 トン (2007 年) と推定され、今後も年 7% 以上の高成長が見込まれています。

東レは PPS 樹脂事業の拡大に向けて、増産による安定供給体制の確保を図るとともに、新規グレードの開発と新規用途開拓を推進していきます。臭素系難燃剤の使用規制が進む電気・電子機器分野向けには、PPS 樹脂の難燃性を活かした当社独自の高純度レジンによるハロゲンフリー対応グレードの提案と採用拡大を進めていきます。また、安全性・快適性の向上、燃費改善など環境性能の向上がますます重要課題となっている自動車分野向けには、“ナノアロイ” をはじめとする当社独自のポリマーアロイ技術を活かした新規グレードの開発を進め、自動車の軽量化、カーエレクトロニクス化、およびハイブリッド対応に向けた新規用途開拓に取り組んでいきます。

東レは PPS を樹脂コンパウンドにとどまらず、フィルム、繊維の各分野にも展開する総合 PPS メーカーで、世界ナンバーワンの事業規模を誇ります。今回、フィルムと繊維にも適用可能な高機能タイプの重合能力を増強することで、世界ナンバーワンのポジションを一層強化していきます。

なお、当社は 2006 年 10 月に発表した PPS 樹脂 “トレリナ” と LCP (液晶ポリマー) 樹脂 “シベラス” の増設工事を完了し、本年 2 月末までに本格稼働を開始しました。これにより、東海工場の PPS 樹脂生産能力は 2,500 トン増の年 11,500 トンに、愛媛工場 (愛媛県松前町) の LCP 樹脂生産能力は従来比倍増の年 2,000 トンになりました。

東レは 2006 年 10 月からスタートした中期経営課題 “プロジェクト Innovation TORAY 2010 (IT-2010)” において、「情報・通信・エレクトロニクス」、「自動車・航空機」などの重点領域をターゲットに先端材料の拡大を推進しています。東レは PPS と LCP の両スーパーエンブラを樹脂事業における先端材料の主要な柱として位置づけ、事業のさらなる拡大を図ってまいります。

以上

* “ナノアロイ” は、東レ株式会社の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

東レ(株)広報室 TEL : <東京>03-3245-5179 <大阪>06-7688-3085